

# 駐車場棟の仮使用が始まる

～藤枝駅前一丁目8街区市街地再開発事業～

要約すると

- 東側エリアの建築工事が順調に進捗
- 駐車場棟1階のバス待機所等の仮使用を開始
- 西側エリアも8月下旬から解体工事に着手

駅前一丁目8街区市街地再開発組合では本年1月の起工式後、本格的な建築工事に取り掛かっています。事業区域の東側エリア（A-E敷地）の市所有となる駐車場棟においては、建物外観が姿を現し、事業の進捗状況が目に見える形で順調に進んでいます。

8月20日、駐車場棟1階に設置されるバス待機所等が、仮使用を開始しました。これは、西側エリア（A-W敷地）の工事を進めるにあたり、再開発事業区域内にあったバス待機所機能を移転したことによるものです。また、バス待機所機能の移転に関連し実施していた駅前広場改修工事についても、順調に8月10日に完了しました。

これにより、8月下旬から西側エリアの解体工事に着手し、

11月頃から高齢者福祉施設棟の建築工事に着手していく計画です。

また、東側エリアの住宅棟については、現在タワークレーンが設置され、免震基礎工事を施工している状況です。

本市初となるこの市街地再開発事業は、“街なか居住中核サービス拠点”として、公共交通機能と一体的に生活支援機能の集積を形成するもので、平成29年度の竣工を予定しています。



駐車場棟の進捗状況（北側より）